

出版によせて

古屋 安雄

わたしは、自由学園男子部の5回生で(1921年卒)、廣瀬君の母親は女子部の25回生で(1947年卒)であったので、相見知ることはなかった。廣瀬君は東京大学で学び、さらに東京基督神学校(現東京基督教大学)で学び、牧師とされた。2つ目の赴任地である東京都府中市の多磨教会で、最初にお会いした。

自由学園で羽仁堯先生が学園長の時、私が牧師として約10年間、クリスマスやイースターの礼拝に招かれた。その後、池袋の明日館で公開講座を開くようになった。羽仁もと子やその周辺をテーマに取り上げ、毎回熱心な聴講者であふれた。

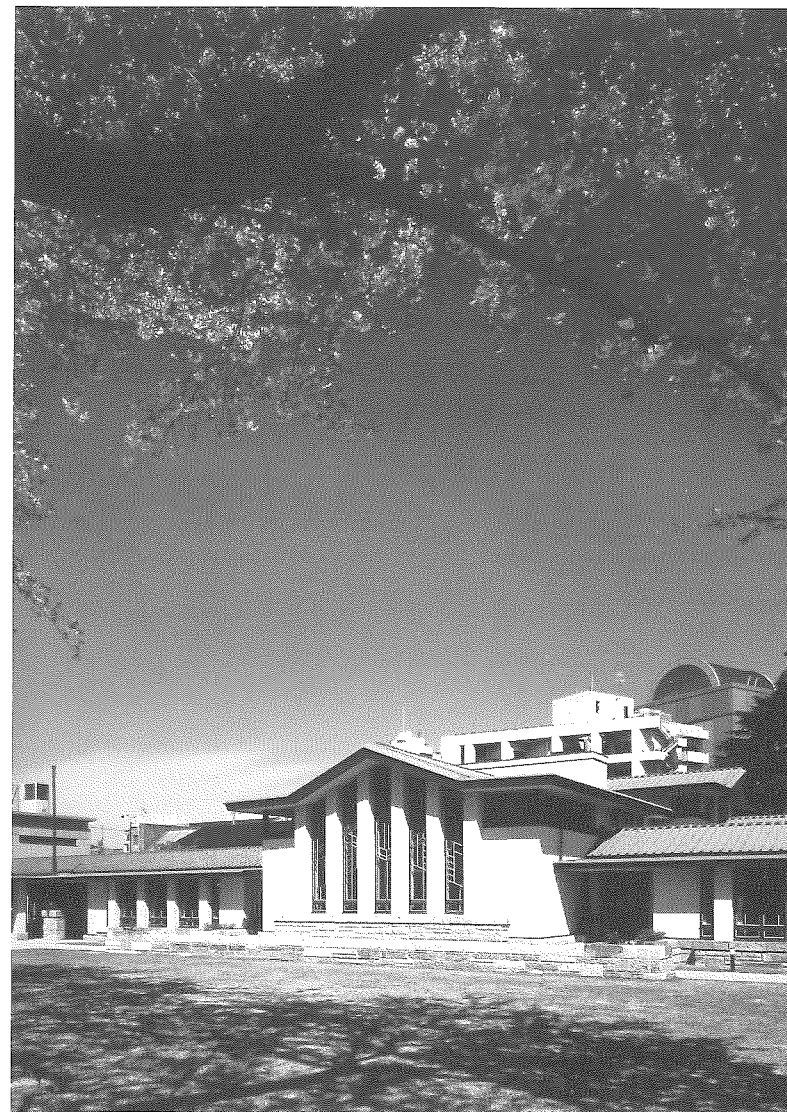
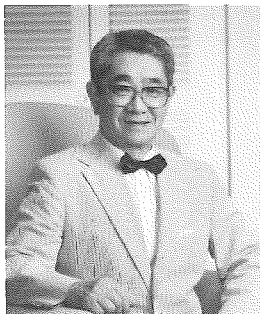
その跡を継いだのが廣瀬君である。有能な彼を見逃すはずはなかった。彼はやがて、成長著しい日本同盟基督教団の総主事となり、さらにいわゆる福音派の唯一の神学大学を持つ東京キリスト教学園(東京基督教大学)の理事長となり多忙の身となった。

しかし彼の自由学園に対する、また羽仁もと子に対する関心は深く、特に神の国に対する熱心は日本のキリスト教会が学ぶべきであると思っている。今でも、池袋の明日館公開講座で講師を務め、自由学園のクリスマスとイースターの礼拝に説教する牧師である。

最近でも時々お会いするが、廣瀬君は羽仁もと子に常に学び、その思想と実践を今の時代に適用することを求めている。そのために、学んだことを自由学園や、婦人之友の読者の会である友の会に行き分ち合うことを楽しみにしている人である。

プロフィール

1926年上海に生まれる。1946年自由学園男子部卒業。日本神学専門学校(現東京神学大学)卒業。神学博士(Th.D.)。1959-97年、国際基督教大学教会牧師、宗教部長、教授。その後、東京女子大学宗教顧問、聖学院大学院教授、賀川豊彦学会会長、等歴任。



自由学園明日館